学校番号	1007

令和　8　年度　　情報 科

教科	情報	科目	Content Creation	単位数	2	年次	3
使用教科書							
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コンピュータを使用して、様々なコンテンツの作成をおこないます。
いろいろなアイデアや表現方法、創意工夫を期待しています。
実習中心の授業になるので、欠席しないようにしましょう。

2　学習の到達目標

(1)効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータを活用した様々なコンテンツの活用について理解を深め、技能を習得するとともに、様々なコンテンツの実用性について理解を深める。
(2)問題の発見や解決に向けて、様々なコンテンツを効果的に活用する力を身に付ける。
(3)情報と情報技術を適切かつ効率的に活用するとともに、情報社会の発展に寄与していく態度を育み、資質・能力を高めていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	コンテンツの制作について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	情報社会におけるコンテンツの制作と発信に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。	情報社会で必要とされるコンテンツの創造を目指して自ら学び、コンテンツの制作と発信に主体的かつ協働的に取り消して態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	webコンテンツの作成	情報デザイン	q: 情報を伝えるときに大切なデザインの基本を理解している。 情報デザインの主な工夫や手法について理解している。 b: 身近にある情報デザインの例を抽象化、可視化、構造化に分類することができる。 c: 身近にある情報デザインの例や用いられている手法を主体的に探そうとしている。	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価　など 発表　など
2学期	コンテンツの作成	音楽の作成 動画の作成	a: 音楽、動画を作成する手順を標本化、量子化、符号化を含め理解している。 b: 目的に応じた適切な表現方法、伝える対象や効果的な方法を考えて整理することができる。 c: 身近にある音楽や動画から情報を伝えるための工夫をしようとしている。	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価　など 発表　など

3学期	コンテンツの作成	音楽の作成 動画の作成	a: 音楽、動画を作成する手順を標本化、量子化、符号化を含め理解している。 b: 目的に応じた適切な表現方法、伝える対象や効果的な方法を考えて整理することができる。 c: 身近にある音楽や動画から情報を伝えるための工夫をしようとしている。	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート 自己評価／ 相互評価　など 発表　など